

## 「未来を育む学校サポートプログラム」を策定しました

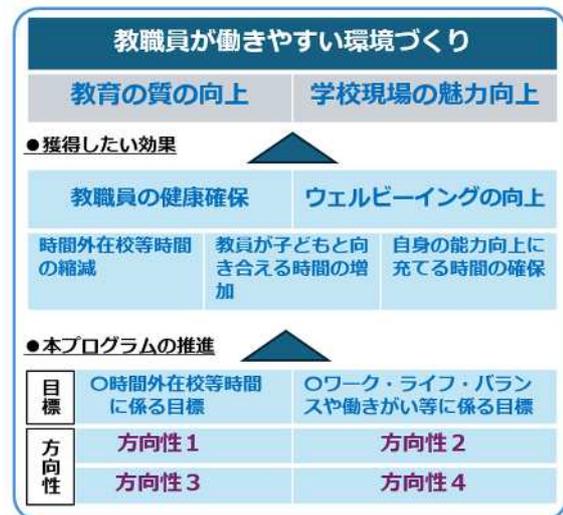
川崎市では、平成 31 年から 2 次にわたり「教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針」を策定し、さまざまな業務改善の取組を進めてきたことにより、年次休暇の平均取得日数の目標達成や時間外在校等時間の縮減など改善傾向にありますが、時間外在校等時間については依然として国の定める上限を超えていることや教員不足など、更なる業務等の改善が求められています。

そのため、これまで本市では学校現場との意見交換等を踏まえた新たな方針の策定を進め、この度、「未来を育む学校サポートプログラム」を策定しましたので、公表します。

今後も引き続き、本プログラムに基づき取組を推進してまいります。

### 1 本プログラムの目指すもの

本プログラムの推進により、時間外在校等時間の縮減とともに、教員が子どもと向き合える時間の増加などの効果を獲得し、教職員の健康確保とウェルビーイングを向上させることで、教育の質の向上と学校現場の魅力の向上を図り、「**教職員が働きやすい環境**」の実現に向けて取組を進めていきます。



### 本プログラムのポイント①

教育委員会事務局が主体となって行ってきた第 2 次教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針の取組を継続しつつ、学校との意見交換会の結果を踏まえた「4 つの対応の方向性」を新たに定めて取組を進めます。

#### 方向性 1 教育課程の編成による創造的な余白づくり

各学校が教員本来の業務である授業準備等に充てる時間を作り出せるよう、学校を取組を支援していきます。

- ・教育課程編成の工夫（清掃、会議・研修日の授業時間の見直し）
- ・学校行事の精選や開催方法の工夫 等

#### 方向性 2 教員の負担軽減・業務改善

業務の効率化やデジタルの活用等により、教員の負担軽減・業務改善に向けた取組を進めていきます。

- ・チーム制（複数教員での授業・学級/学年経営）
- ・採点システムの導入の検討 等

※学校現場での実践が重要な取組  
方向性 1、2、3

#### 方向性 3 児童生徒主体の学びへの転換

児童生徒が主体的に考えて学びを自走していくように、教員がファシリテーター役を担う学びへの取組を進めていきます。

- ・教員主導から子ども主体の授業への転換
- ・特別活動や学校行事における活動の充実 等

#### 方向性 4 しきみづくり・環境整備・人材確保

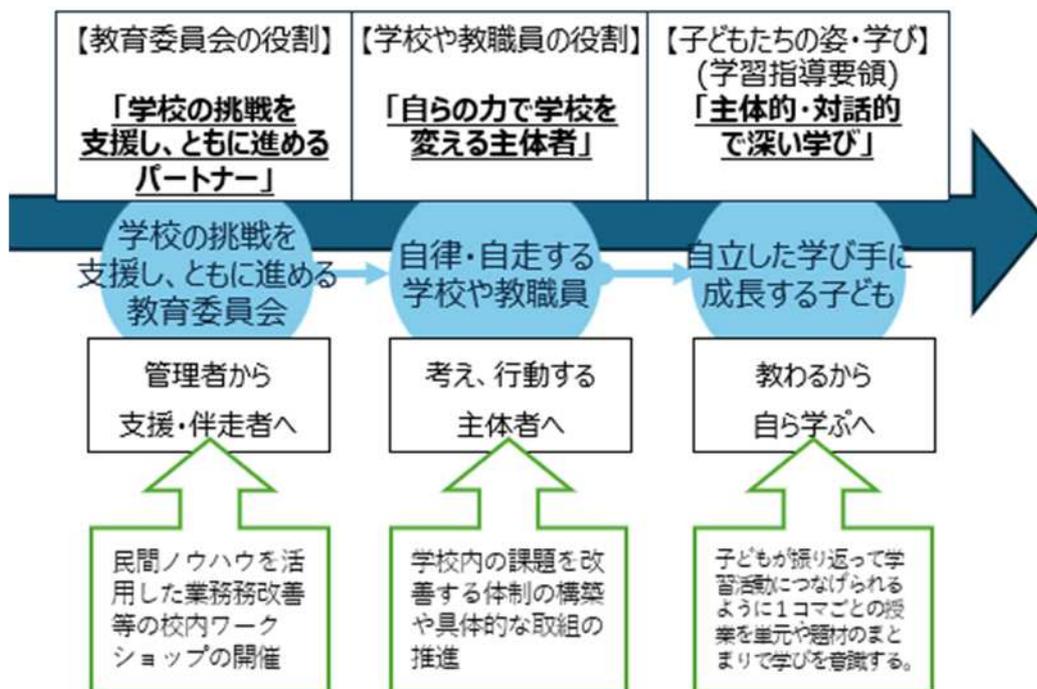
主に教育委員会が中心となって、負担軽減などにつながるしきみづくり・環境整備を行うとともに人材確保の取組を進めていきます。

- ・教員以外の職種との連携強化による業務推進
- ・業務の外部委託化（水泳指導、設備管理） 等

※教育委員会による実現が重要な取組  
方向性 4

## 本プログラムのポイント②

本プログラムの取組を進めるに当たり、教育委員会は「学校の挑戦を支援し、ともに進めるパートナー」となり、学校を支援・伴走していきます。また、学校や教職員は、「自らの力で学校を変える主体者」として、自律・自走する学校や教職員となることを目指します。



## 2 添付資料

資料 未来を育む学校サポートプログラム 概要版

## 3 その他

「教職員の働き方・仕事の進め方改革について」の詳細については、川崎市のホームページに掲載しています。

(<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000106892.html>)

▼ 市ホームページ



問合せ先

川崎市教育委員会事務局教育政策室 大島

電話 044-200-0914